

| テーマ：学級 P T A における実践事例 薩摩川内市立平佐西小学校 教諭 河野ひろみ | | | |
|--|---|--|------------|
| ねらい | 学級 P T A という集団の中で保護者同士が自己開示することにより、本音と本音の交流や感情交流ができるような関係を築けるようにする。 子どもたちの健やかな成長を目的とした、充実した学級 P T A 活動を展開する。 | | 対象者 保護者 |
| 期 日 | テーマと主な活動 | 留意点、考察等 | |
| 第 1 回 4/14 | 【はじめまして よろしく！】 ・自己紹介 ・わが子のいいところ紹介 ・シェアリング 話し合い活動 「年間活動計画と学級役員の選出」 | ・「さんのお母さん」ではなく、自分の名前をみんなに知ってもらおう。 ・日頃つい叱ってしまうことが多いようだが、子どもの長所について見つめ直すよい機会でもあったようだ。 ・少しずつ自己開示ができ話し合い活動の会話が弾んでいた。 | |
| 第 2 回 7/9 | 【伝えましょう 私の気持ち！】 ・誕生日チェーン ・シェアリング 話し合い活動 「1 学期の反省と夏休みの過ごし方」 | ・言葉は交わさず、身振りと手振りだけでコミュニケーションするというエクササイズ約束事をしっかり伝える。また、シェアリングではこのエクササイズの趣旨を確認する。 | |
| 第 3 回 9/10 | 【すてきな夢を語りましょう！】 ・ P A T H (幸 せ の 一 番 星 !) ・シェアリング 話し合い活動 「夏休みの反省と 2 学期の活動計画」 | ・「一番星」という子どもの夢や希望をそれぞれ定め、その夢に向けて具体的、現実的なステップを考察していく。 ・自分の子どもの夢を語ることから始めることで、子どもたちの将来についての関心が高まり、活発な意見交換がなされた。 ・夢を実現するための計画図を作成することで方向性もより明確化され、様々な意見の重要性も理解できたようだ。 | |
| 第 4 回 12/10 | 【教えます！私のこと】 ・私は誰でしょう ・シェアリング 話し合い活動 「2 学期の反省と冬休みの過ごし方」 | ・保護者自身について（趣味、特徴、名前等）書いてもらい、その紙を B O X から引いて誰だか当ててもらうことで、保護者相互の理解が深まったようだ。 | |
| 第 5 回 1/18 | 【ちょっと振り返って！】 ・自分の口癖 ・シェアリング 話し合い活動 「冬休みの反省と 3 学期の活動計画」 | ・事前に子どもたちが書いたものと保護者が書いたものを比べながら、保護者（自分）が気付かずに使っている口癖について振り返る。 | |
| 第 6 回 3/8 | 【喜び合いましょう！】 ・一心同体？ ・シェアリング 話し合い活動 「1 年間の反省と春休みの過ごし方」 | ・今学年を振り返って、頑張ったことやもう少しだったこと、思い出などを子どもの書いたものと保護者の書いたものを見比べながら子どもの成長の喜びを実感させる。 | |
| <p>< 保護者の感想 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じ名前で親しみをもった。 ・言葉がなくても伝えたいと思う気持ちがあれば通じるということを実感した。 ・あまり親しくない人と手をつなぐことは少し抵抗があったが、実際につないでみると少しずつ距離が縮んだような気がする。 ・将来の夢について考えることはとても楽しかった。 ・夢の実現のために具体的にどんな方法があるのか分かった。 | | | |
| <p>< 実践の考察 ></p> <p>4 月に新しく学級が編成がされ、保護者同士は顔は知っていても名前が分からなかったり、転入者もいたりする中でスタートした学級 P T A であった。数回の実践を通して、学級内の保護者同士の交流も図られ、「次はいつですか」など次回の学級 P T A を楽しみにする声も多く聞かれるようになってきた。</p> <p>学級 P T A の後、「先生と語ろう会」と称した保護者との個別の教育相談を実施したり、「おしゃべりノート」という交換ノートを担当・保護者間で回覧したりするなど、教師と保護者の交流を深める活動を進めている。</p> | | | |